地域コミュニティに関する市民アンケート
結果報告書

令和８年（2026 年）10 月
平塚市

目次

第１章　調査の概要

１　調査の目的 …… 2

２　調査の方法 …… 2

３　有効回答数 …… 2

４　報告書の見方 …… 2

第２章　結果の概要

あなたご自身についておたずねします。 …… 5

問１　あなたの性別をお答えください。 …… 5

問２　あなたの年齢をお答えください。 …… 5

あなたの世帯の自治会・町内会加入状況についておたずねします。 … 5

問３　あなたの世帯は、自治会・町内会に加入していますか。 … 5

問４　問３で「１．加入している」とお答えした方におたずねします。加入している理由は何ですか。 …… 6

問５　問３で「１．加入している」とお答えした方におたずねします。自治会・町内会では、どのような活動が重要だと思いますか。 …… 7

問６　問３で「２．加入していない」とお答えした方におたずねします。加入していない理由は何ですか。 …… 8

地域参加についておたずねします。 …… 9
問７　自治会・町内会以外で、どのような団体の地域活動に参加したことがありますか。 …… 9
問８　今後、どうすればより多くの方が地域活動に参加すると思いますか。 …… 10
問９　どのようなつながり（関係性）を地域に求めていますか。 11
問 10　どの程度ならば、地域活動に関わることができますか。 … 12
公民館の利用方法についておたずねします。 …… 13
問 11　公民館をどのような目的で利用していますか。 …… 13
問 12　これからの公民館で、あるとうれしいと思うことは何ですか。14
これからの地域づくりについておたずねします。 …… 15
問 13　地域活動、地域の助け合いについて、どのように思いますか。15
問 14　地域づくりにおいて、地域と行政はどのような関係が望ましいと思いますか。 …… 16
地域づくりについて、ご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。17

第３章　結果の考察

１　結果の考察 …… 20

資料編　（調査票） …… 23

第１章　調査の概要

１　調査の目的

今回の調査では、地域との関わり、地域コミュニティへの意識・意向をお聞きすることを目的とした。

２　調査の方法

（１）調査区域　平塚市全域
（２）調査対象　平塚市内に在住する満 16 歳以上の男女 3,000 名
（３）抽出方法　住民基本台帳より無作為抽出
（４）調査方法　郵送配布、郵送回収（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
　　又は e-kanagawa 電子申請システムでの回答
（５）調査期間　令和８年６月５日（金）～７月３日（金）
（６）調 査 票　本報告書の巻末を参照

３　有効回答数

（１）標本数

発送	3,000 件
戻り	８件
実質標本数	2,992 件

（２）有効回答数　1,221 件
（３）有効回収率　40.8%

４　報告書の見方

（１）　回答結果の割合「%」について

・それぞれの回答数の割合を小数点以下第３位で四捨五入したも　のです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内のグラフ、表及び分析文においても反映しています。

・ 複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答者数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計値が 100.0%を超える場合があります。

（２）　グラフ及び表について

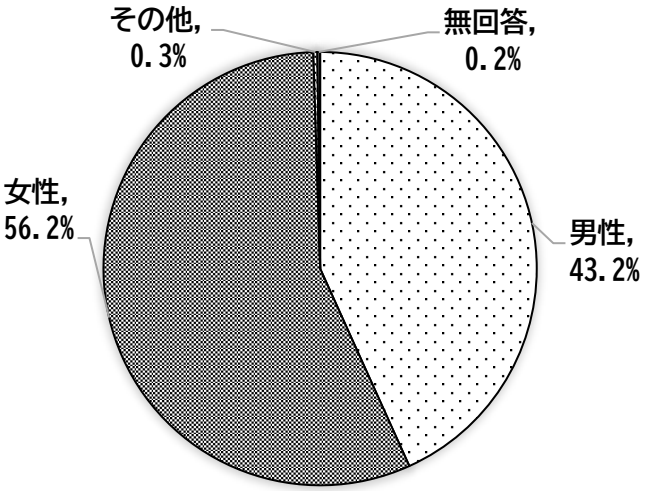
・「N（number of case)」は、有効回答数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当す　る人）を表しています。

第２章　結果の概要

あなたご自身についておたずねします。

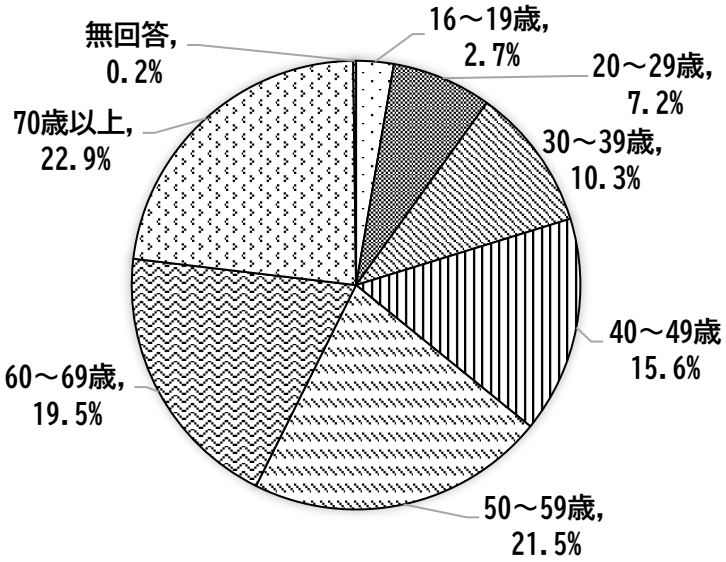
問１　あなたの性別をお答えください。

付番	選択肢	割合	回答数
1	男性	43.2%	528
2	女性	56.2%	686
3	その他	0.3%	4
	無回答	0.2%	3
	全体	ー	1,221



問２　あなたの年齢をお答えください。

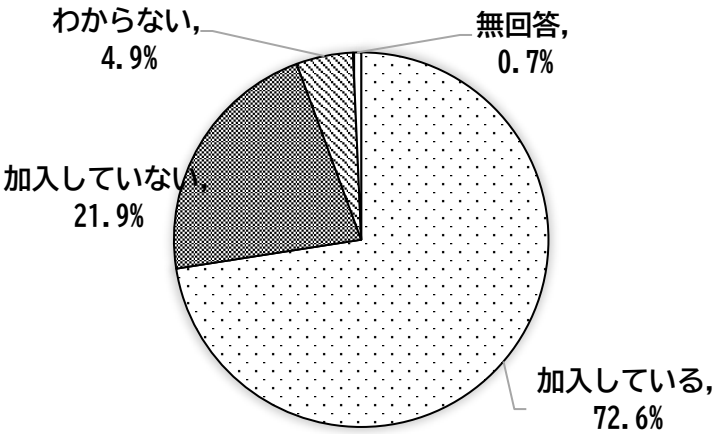
付番	選択肢	割合	回答数
1	16～19歳	2.7%	33
2	20～29歳	7.2%	88
3	30～39歳	10.3%	126
4	40～49歳	15.6%	191
5	50～59歳	21.5%	263
6	60～69歳	19.5%	238
7	70歳以上	22.9%	280
	無回答	0.2%	2
	全体	ー	1,221



あなたの世帯の自治会・町内会加入状況についておたずねします。

問３　あなたの世帯は、自治会・町内会に加入していますか。

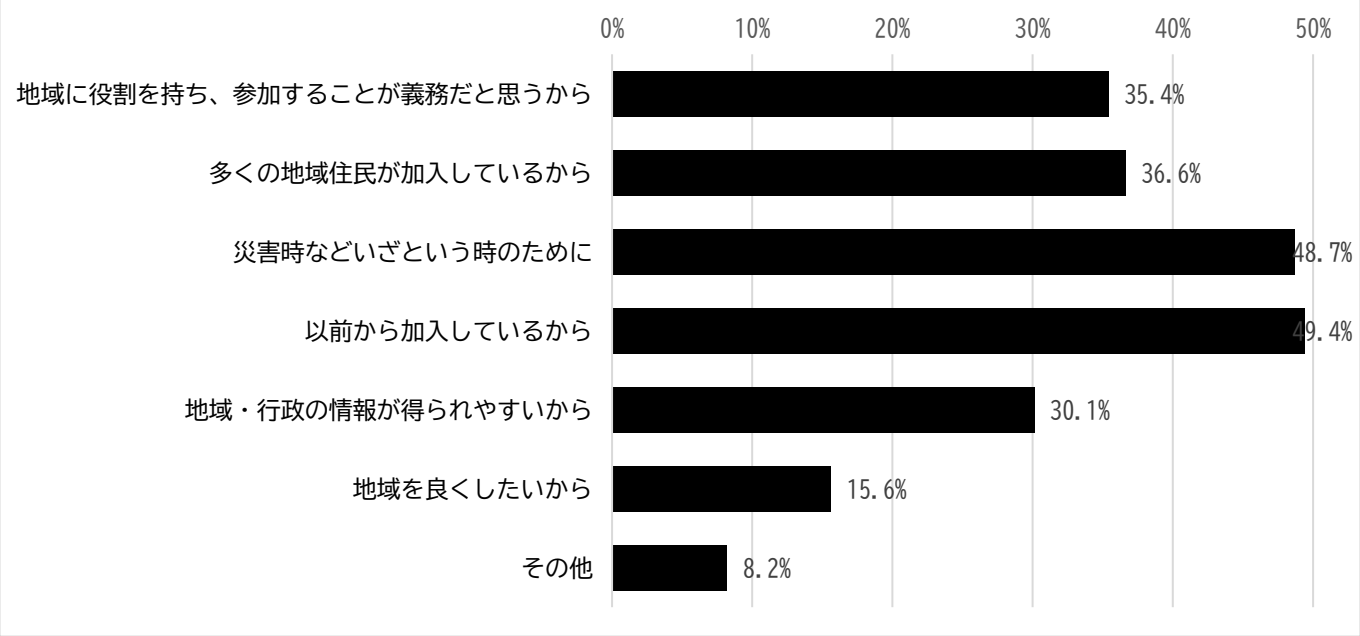
付番	選択肢	割合	回答数
1	加入している	72.6%	886
2	加入していない	21.9%	267
3	わからない	4.9%	60
	無回答	0.7%	8
	全体	ー	1,221



問４　問３で「１．加入している」とお答えした方におたずねします。加入している理由は何ですか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	地域に役割を持ち、参加することが義務だと思うから	35.4%	313
2	多くの地域住民が加入しているから	36.6%	323
3	災害時などいざという時のために	48.7%	430
4	以前から加入しているから	49.4%	436
5	地域・行政の情報が得られやすいから	30.1%	266
6	地域を良くしたいから	15.6%	138
7	その他	8.2%	72
	全体	―	1,978
	有効回答者数	N	883

※複数回答のため、100%を超える。
※問３で『加入している』と回答した 886 名のうち、無回答を除いた 883 名を集計対象としている。

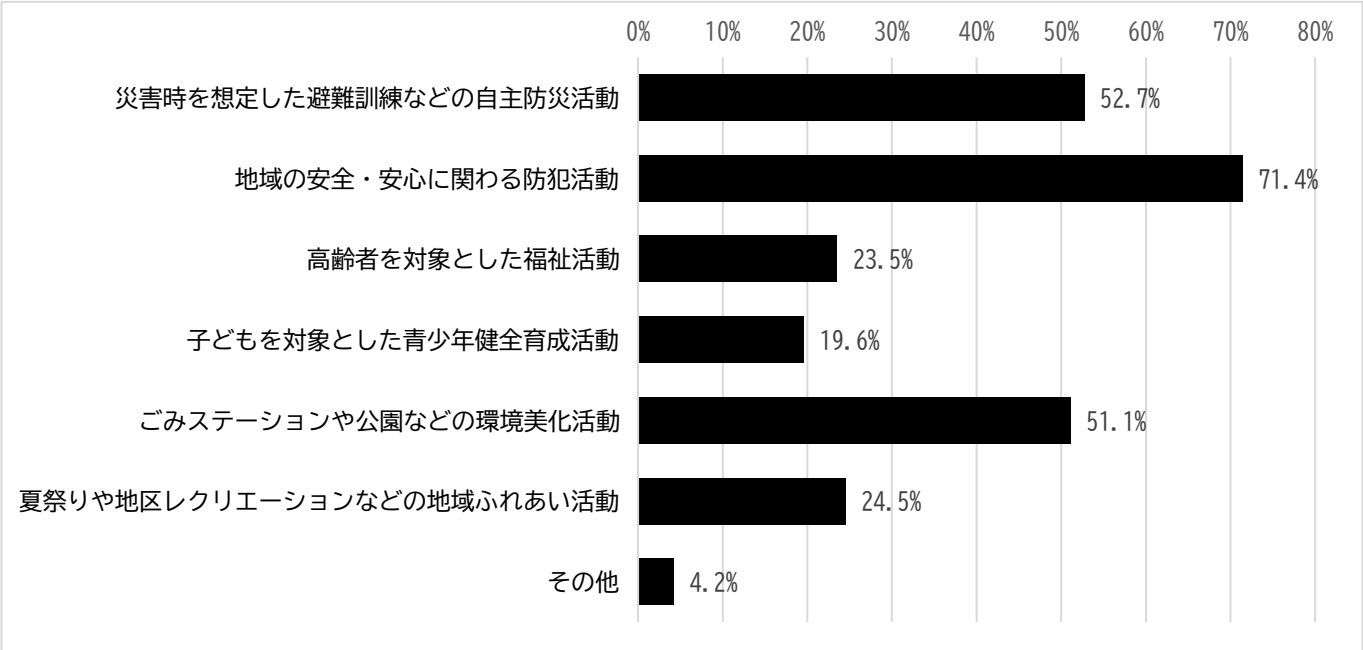


加入理由としては、「以前から加入しているから」49.4%、「災害時などいざという時のために」48.7%が多数を占めた。次いで、「多くの地域住民が加入しているから」36.6%、「地域に役割を持ち、参加することが義務だと思うから」35.4%、「地域・行政の情報が得られやすいから」30.1%となった。

問５　問３で「１．加入している」とお答えした方におたずねします。自治会・町内会では、どのような活動が重要だと思いますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	災害時を想定した避難訓練などの自主防災活動	52.7%	461
2	地域の安全・安心に関わる防犯活動	71.4%	624
3	高齢者を対象とした福祉活動	23.5%	205
4	子どもを対象とした青少年健全育成活動	19.6%	171
5	ごみステーションや公園などの環境美化活動	51.1%	447
6	夏祭りや地区レクリエーションなどの地域ふれあい活動	24.5%	214
7	その他	4.2%	37
	全体	―	2,159
	有効回答者数	N	874

※複数回答のため、100%を超える。
※問３で『加入している』と回答した 886 名のうち、無回答を除いた 874 名を集計対象としている。

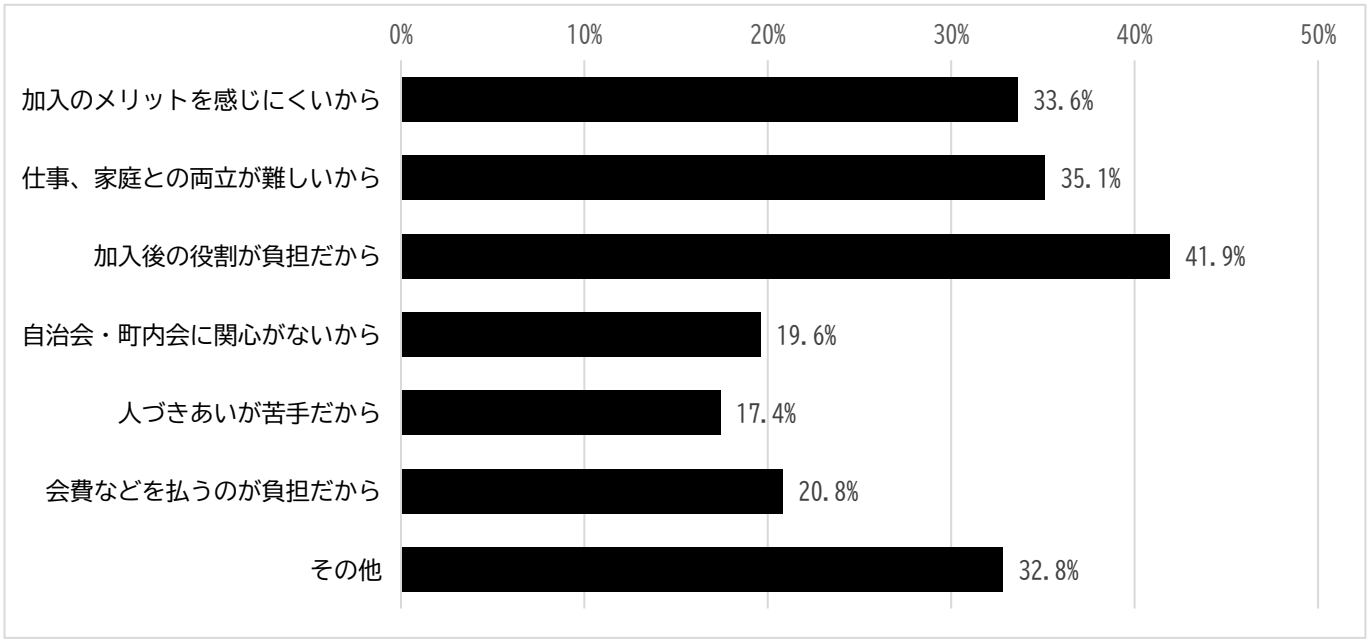


加入者が自治会・町内会で重要だと考える活動は、「地域の安全・安心に関わる防犯活動」71.4%が最も高くなった。次いで「災害時を想定した避難訓練などの自主防災活動」52.7%、「ごみステーションや公園などの環境美化活動」51.1%となった。

問６　問３で「２．加入していない」とお答えした方におたずねします。加入していない理由は何ですか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	加入のメリットを感じにくいから	33.6%	89
2	仕事、家庭との両立が難しいから	35.1%	93
3	加入後の役割が負担だから	41.9%	111
4	自治会・町内会に関心がないから	19.6%	52
5	人づきあいが苦手だから	17.4%	46
6	会費などを払うのが負担だから	20.8%	55
7	その他	32.8%	87
	全体	ー	533
	有効回答者数	N	265

※複数回答のため、100%を超える。
※問３で『加入していない』と回答した 267 名のうち、無回答を除いた 265 名を集計対象としている。



未加入者の理由は、「加入後の役割が負担だから」41.9%が最も高く、次いで「仕事、家庭との両立が難しいから」35.1%、「加入のメリットを感じにくいから」33.6%となった。

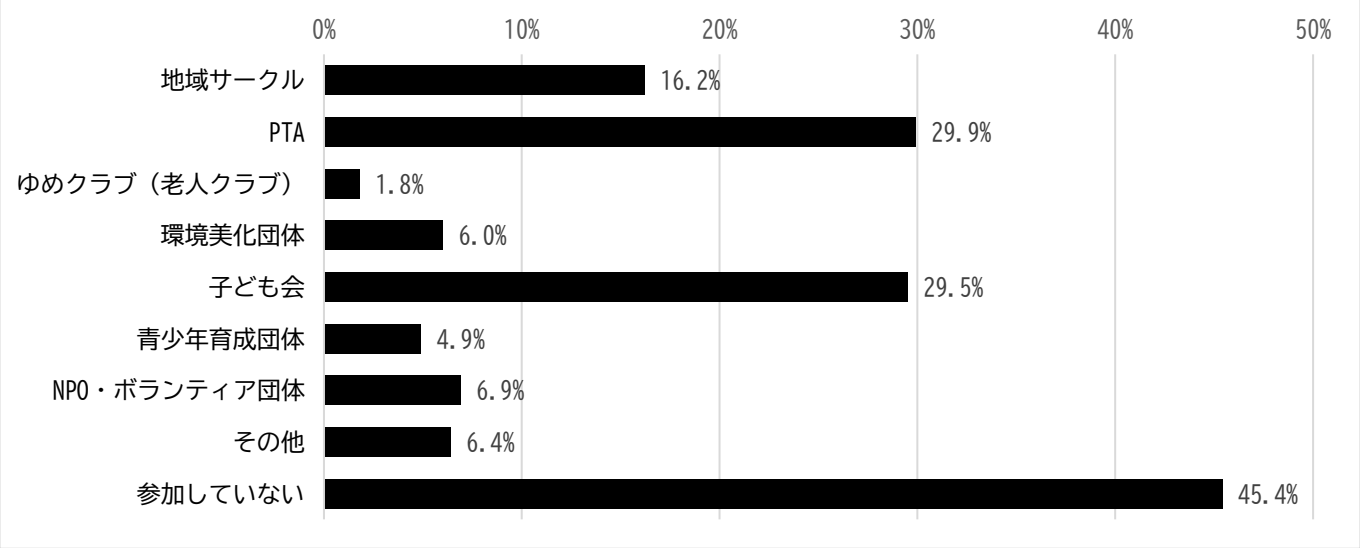
地域参加についておたずねします。

問７　自治会・町内会以外で、どのような団体の地域活動に参加したことがありますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	地域サークル	16.2%	193
2	PTA	29.9%	357
3	ゆめクラブ（老人クラブ）	1.8%	22
4	環境美化団体	6.0%	72
5	子ども会	29.5%	353
6	青少年育成団体	4.9%	58
7	NPO・ボランティア団体	6.9%	83
8	その他	6.4%	76
9	参加していない	45.4%	543
	全体	―	1,757
	有効回答者数	N	1,195

※複数回答のため、100%を超える。

※有効回収数 1,221 名のうち、無回答を除いた 1,195 名を集計対象としている。

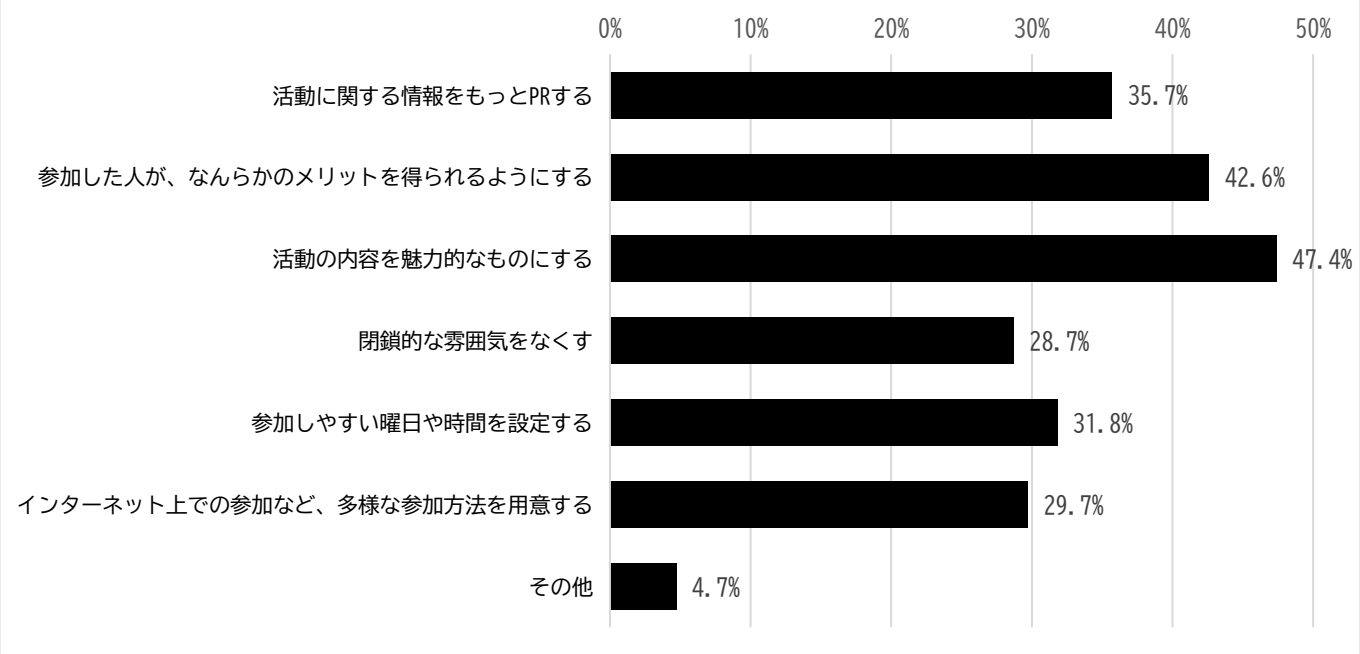


自治会・町内会以外の地域活動への参加経験は、「参加していない」45.4%が最も高くなった。参加経験がある活動の中では、「PTA」29.9%、「子ども会」29.5%と高く、次いで「地域サークル」16.2%となった。

問８　今後、どうすればより多くの方が地域活動に参加すると思いますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	活動に関する情報をもっとPRする	35.7%	424
2	参加した人が、なんらかのメリットを得られるようにする	42.6%	506
3	活動の内容を魅力的なものにする	47.4%	563
4	閉鎖的な雰囲気をなくす	28.7%	341
5	参加しやすい曜日や時間を設定する	31.8%	378
6	インターネット上での参加など、多様な参加方法を用意する	29.7%	353
7	その他	4.7%	56
	全体	―	2,621
	有効回答者数	N	1,187

※複数回答のため、100%を超える。
※有効回収数 1,221 名のうち、無回答を除いた 1,187 名を集計対象としている。

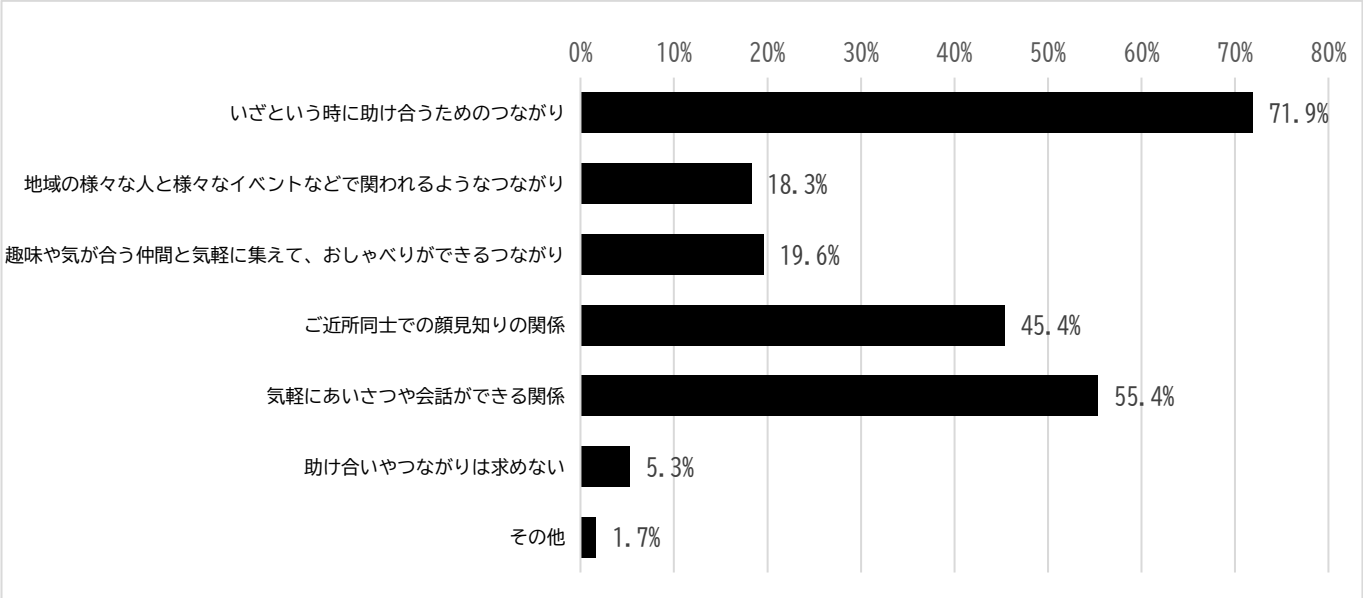


より多くの人が地域活動に参加するためには、「活動の内容を魅力的なものにする」47.4%が最も高くなった。次いで「参加した人が、なんらかのメリットを得られるようにする」42.6%、「活動に関する情報をもっと PR する」35.7%となった。

問９　どのようなつながり（関係性）を地域に求めていますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	いざという時に助け合うためのつながり	71.9%	862
2	地域の様々な人と様々なイベントなどで関われるようなつながり	18.3%	219
3	趣味や気が合う仲間と気軽に集えて、おしゃべりができるつながり	19.6%	235
4	ご近所同士での顔見知りの関係	45.4%	544
5	気軽にあいさつや会話ができる関係	55.4%	664
6	助け合いやつながりは求めない	5.3%	63
7	その他	1.7%	20
	全体	―	2,607
	有効回答者数	N	1,199

※複数回答のため、100%を超える。
※有効回収数 1,221 名のうち、無回答を除いた 1,199 名を集計対象としている。



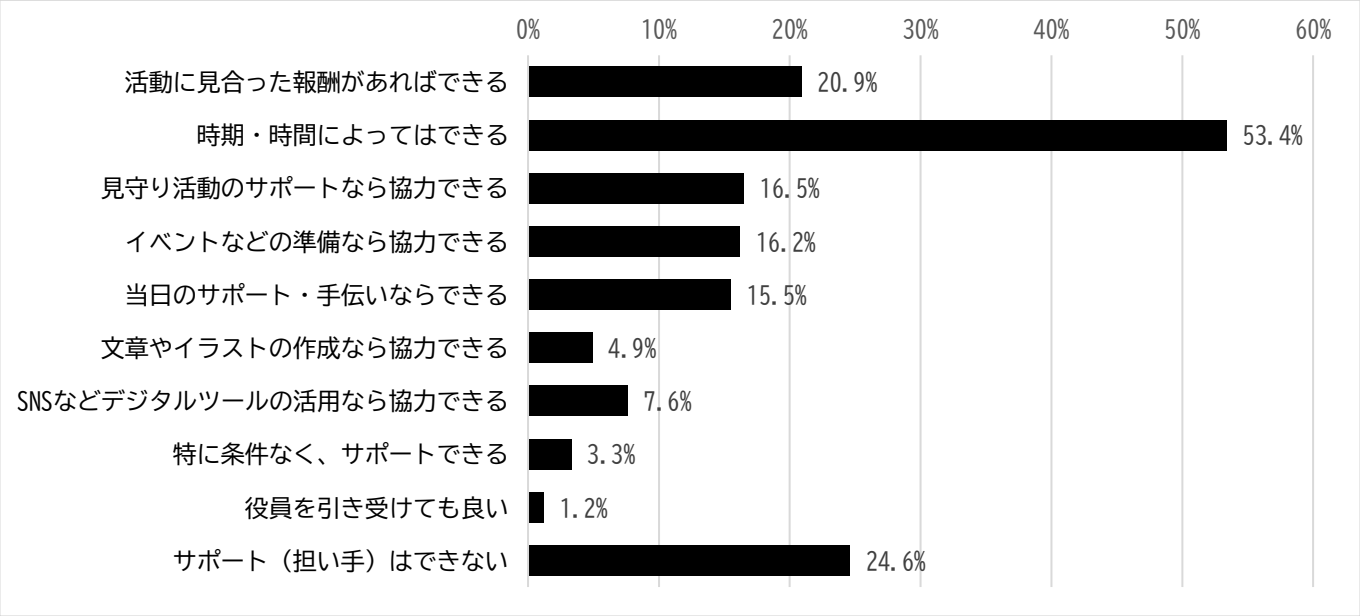
地域に求めるつながりは、「いざという時に助け合うためのつながり」71.9%が最も高くなった。次いで「気軽にあいさつや会話ができる関係」55.4%、「ご近所同士での顔見知りの関係」45.4%となった。一方で「趣味や気が合う仲間と気軽に集えて、おしゃべりができるつながり」19.6%、「地域の様々な人と様々なイベントなどで関われるようなつながり」18.3%は低い結果となった。

問 10　どの程度ならば、地域活動に関わることができますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	活動に見合った報酬があればできる	20.9%	245
2	時期・時間によってはできる	53.4%	626
3	見守り活動のサポートなら協力できる	16.5%	193
4	イベントなどの準備なら協力できる	16.2%	190
5	当日のサポート・手伝いならできる	15.5%	182
6	文章やイラストの作成なら協力できる	4.9%	58
7	SNSなどデジタルツールの活用なら協力できる	7.6%	89
8	特に条件なく、サポートできる	3.3%	39
9	役員を引き受けても良い	1.2%	14
10	サポート（担い手）はできない	24.6%	288
	全体	―	1,924
	有効回答者数	N	1,172

※複数回答のため、100%を超える。

※有効回収数 1,221 名のうち、無回答を除いた 1,172 名を集計対象としている。



地域活動への関わり方としては、「時期・時間によってはできる」53.4%が最も高くなった。具体的な関わり方としては、「見守り活動のサポートなら協力できる」16.5%、「イベントなどの準備なら協力できる」16.2%、「当日のサポート・手伝いならできる」15.5%が挙げられた。一方で「サポート（担い手）はできない」は 24.6%となった。

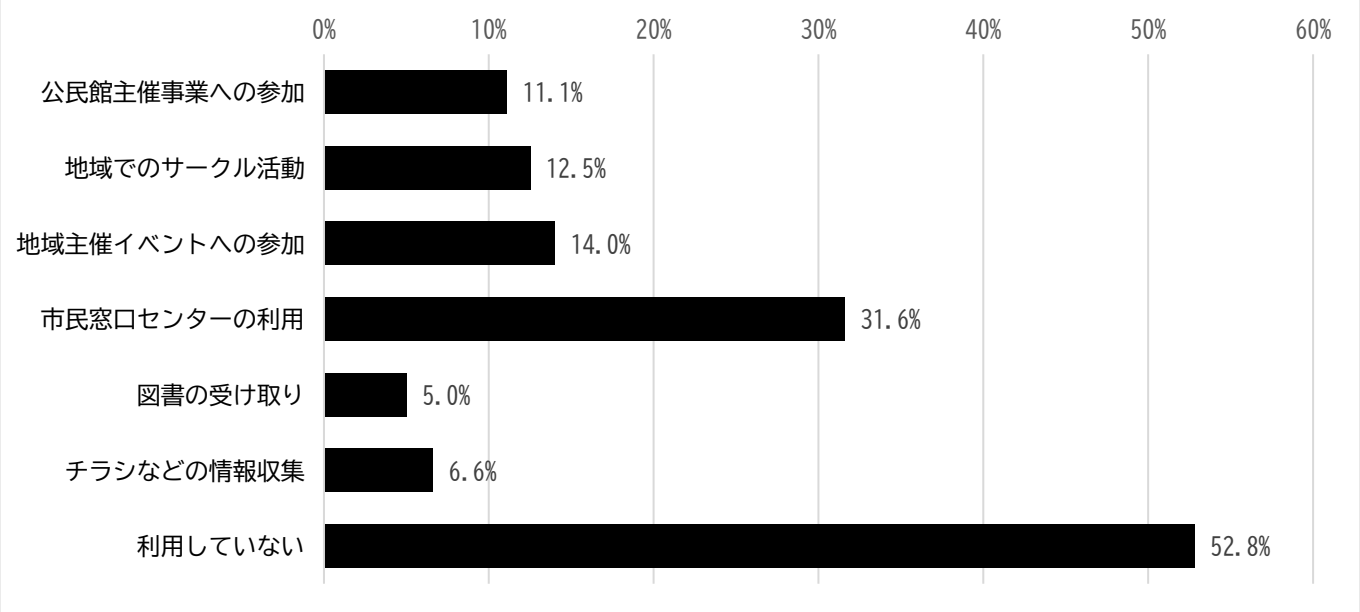
公民館の利用方法についておたずねします。

問 11　公民館をどのような目的で利用していますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	公民館主催事業への参加	11.1%	134
2	地域でのサークル活動	12.5%	150
3	地域主催イベントへの参加	14.0%	168
4	市民窓口センターの利用	31.6%	380
5	図書の受け取り	5.0%	60
6	チラシなどの情報収集	6.6%	80
7	利用していない	52.8%	636
	全体	―	1,608
	有効回答者数	N	1,204

※複数回答のため、100%を超える。

※有効回収数 1,221 名のうち、無回答を除いた 1,204 名を集計対象としている。



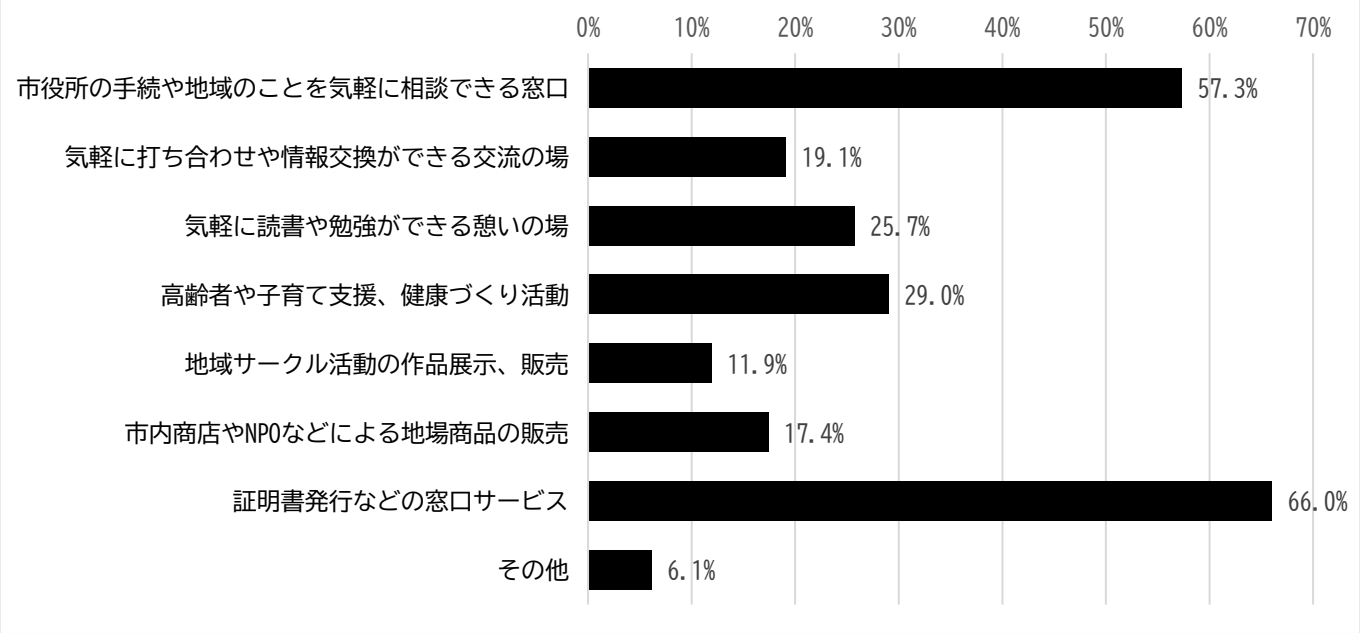
公民館の利用目的は、「利用していない」52.8%が最も高くなった。利用している人の中では「市民窓口センターの利用」が 31.6%で、「地域主催イベントへの参加」が 14.0%、「地域でのサークル活動」が 12.5%となった。

問 12　これからの公民館で、あるとうれしいと思うことは何ですか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	市役所の手続や地域のことを気軽に相談できる窓口	57.3%	680
2	気軽に打ち合わせや情報交換ができる交流の場	19.1%	227
3	気軽に読書や勉強ができる憩いの場	25.7%	305
4	高齢者や子育て支援、健康づくり活動	29.0%	344
5	地域サークル活動の作品展示、販売	11.9%	141
6	市内商店やNPOなどによる地場商品の販売	17.4%	206
7	証明書発行などの窓口サービス	66.0%	783
8	その他	6.1%	72
	全体	ー	2,758
	有効回答者数	N	1,187

※複数回答のため、100%を超える。

※有効回収数 1,221 名のうち、無回答を除いた 1,187 名を集計対象としている。

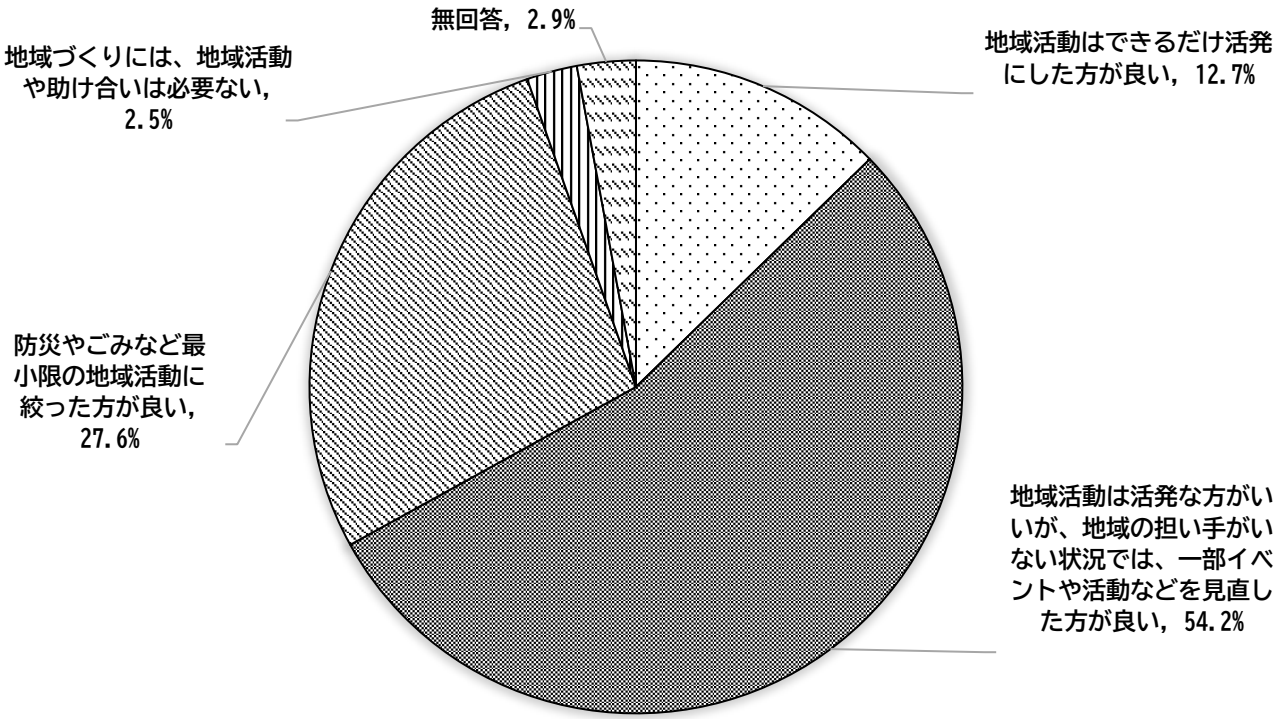


これからの公民館に期待する機能は、「証明書発行などの窓口サービス」66.0%が最も高く、次いで「市役所の手続や地域のことを気軽に相談できる窓口」57.3%となった。

これからの地域づくりについておたずねします。

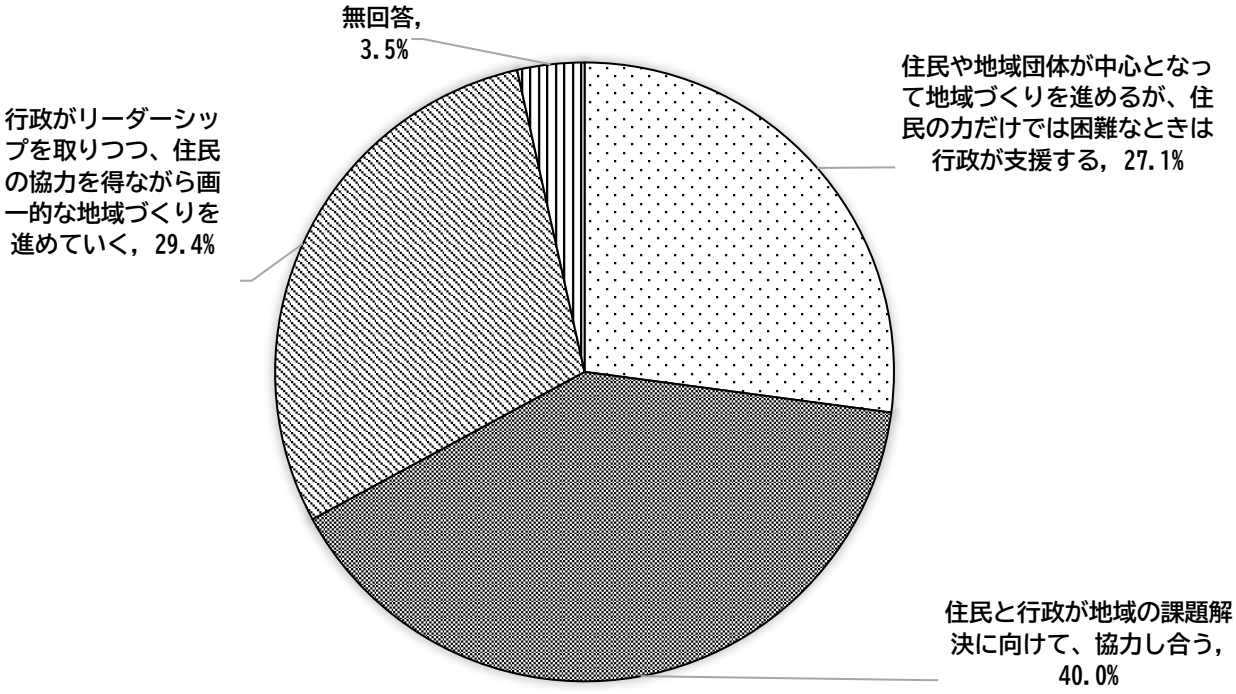
問 13　地域活動、地域の助け合いについて、どのように思いますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	地域活動はできるだけ活発にした方が良い	12.7%	155
2	地域活動は活発な方がいいが、地域の担い手がいない状況では、一部イベントや活動などを見直した方が良い	54.2%	662
3	防災やごみなど最小限の地域活動に絞った方が良い	27.6%	337
4	地域づくりには、地域活動や助け合いは必要ない	2.5%	31
	無回答	2.9%	36
	全体	―	1,221



問 14　地域づくりにおいて、地域と行政はどのような関係が望ましいと思いますか。

付番	選択肢	割合	回答数
1	住民や地域団体が中心となって地域づくりを進めるが、住民の力だけでは困難なときは行政が支援する	27.1%	331
2	住民と行政が地域の課題解決に向けて、協力し合う	40.0%	488
3	行政がリーダーシップを取りつつ、住民の協力を得ながら画一的な地域づくりを進めていく	29.4%	359
	無回答	3.5%	43
	全体	―	1,221



設問　地域づくりについて、ご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。

自由記述では、２５３名から意見があった。
主な意見としては、以下のとおり。
※自由記述は原則として回答者の記載どおり掲載しているが、明らかな誤字・脱字については、意味を損なわない範囲で修正している。

1　自治会・町内会の運営方法に関する意見
・自治会役員のやり手がまったくいない。若い人は自治会に入る気がない（会費をとられ仕事だけを押し付けられる）。
・町内会の役員をやっている。現在、役員の高齢化が進み、若い方の参加がないために、今後の存続が心配である。
・可能な限り省力化する方向で緩やかに見直すべき。全く失くす必要はないが、社会状況が変化する中、これまで通りに維持する事は望ましくないと思われる。

2　行政サービス・インフラへの要望（公助）
・地域の役職や活動にもっと行政が関わったほうが良いと思う(高齢化しているため)。
・行政が地域の問題解決に柔軟に対応しようとすることが大切だと思う。できないことが多くあるかとは思うが、解決する方法を考えて欲しい。
・コミュニティースペースが圧倒的に少ないと思う。空いているスペースもあると思うので積極的に開放すれば、地域活動にも役立つと思う。

3　高齢化や社会情勢の変化などの社会背景に関する意見
・少子高齢化社会において、地域での活動もだんだん困難を要する時代がきたと思う。その時行政がどこまで中に入って支援ができる今後心配である（今のままの行政では)。
・昔と違い、共働き世帯が増えていることをもっと考慮してほしい。朝早く出勤し帰宅も夜になる。また、土日勤務も増えてきているので、そんな人でも参加したいと思えるような地域づくりを願う。
・地域との関わりとして苦手ではあるが、助け合いは必要だと思う。地域活動が苦手な人でも、何かできる事があればと感じる。

4　その他
・安心、安全に生活できる地域づくりを基本に活動して欲しいと思う。
・コロナ以降、前とは違い人との接し方が変わった。時代に合ったやり方を考えていくと助かり、参加しやすい。本当に必要かを考えるのも必要だと思う。

第３章　結果の考察

１　結果の考察

本アンケートは、自治会・町内会等の地域活動への参加状況や意識とともに、今後の地域づくりの意向を把握することを目的として実施した。

（１）自治会・町内会加入状況及び意識について

世帯における自治会・町内会の加入状況は、「加入している」が 72.6%と 7 割を超えているものの、「加入していない」との回答も 21.9%あった。

加入している世帯の理由としては、「以前から加入しているから」49.4%や「災害時などいざという時のために」48.7%が多く、慣習的な理由のほか、防災面での安心感を重視している傾向が見られる。

自治会・町内会に求める重要な活動としては、「地域の安全・安心に関わる防犯活動」71.4%、「災害時を想定した避難訓練などの自主防災活動」52.7%、「ごみステーションや公園などの環境美化活動」51.1%が上位を占めており、防犯・防災・環境美化など日常生活の安全・安心に関わるものが中心であった。

一方で、未加入の理由は、「加入後の役割が負担だから」41.9%が最も高く、次いで「仕事、家庭との両立が難しいから」35.1%、「加入のメリットを感じにくいから」33.6%が挙げられており、活動に伴う時間的・身体的な負担感が加入の主なハードルとなっている。

（２）地域参加及び関わり方について

自治会・町内会以外の地域団体活動への参加経験では、「参加していない」が 45.4%と約半数を占めた。参加経験のある団体としては、「PTA」29.9%や「子ども会」29.5%が多く、自治会・町内会以外の地域活動に参加するきっかけとなっている。

より多くの方が地域活動に参加するための条件としては、「活動の内容を魅力的なものにする」47.4%や「参加した人が、なんらかのメリットを得られるようにする」42.6%が多く、参加したいと思える活動やインセンティブを重視する意見が多い。

地域に求めるつながりは、「いざという時に助け合うためのつながり」71.9%や「気軽にあいさつや会話ができる関係」55.4%が高く、過度に関わり過ぎず、非常時の助け合いや日常的な挨拶程度の程よい距離感が望まれている。

また、地域活動への関わり意向については、「時期・時間によってはできる」が 53.4%で半数を超えており、条件によっては、協力する意思を持つ人は一定数存在し、時間や生活状況に合わせた柔軟な参加方法が求められている。一方、「役員を引き受けても良い」は 1.2%と極めて低く、役員など継続的な責任を伴う担い手の確保は難しい。

（３）公民館の利用方法について

現在の公民館利用は、「利用していない」52.8%が半数を超えている。一方、利用目的は「市民窓口センターの利用」31.6%が最も高かった。

また、これからの公民館に期待することとして、「証明書発行などの窓口サービス」66.0%や「市役所の手続や地域のことを気軽に相談できる窓口」57.3%が多数を占めており、身近な行政手続や相談窓口としての利便性が求められている。

（４）これからの地域づくり及び地域と行政の関係について

地域活動のあり方として、「地域活動は活発な方がいいが、地域の担い手がいない状況では、一部イベントや活動などを見直した方が良い」54.2%が半数を占め、「防災やごみなど最小限の活動に絞った方が良い」27.6%と合わせると、約８割が活動内容や範囲を見直す必要があると考えている。

また、「住民と行政が地域の課題解決に向けて、協力し合う」40.0%が最も多く、次いで「行政がリーダーシップを取りつつ、住民の協力を得ながら画一的な地域づくりを進めていく」29.4%、「住民や地域団体が中心となって地域づくりを進めていくが、住民の力だけでは困難なときは行政が支援する」27.1%となっており、行政による支援や協力を得ながら見直しを行うことが求められている。

資料編　（調査票）

調査票　　【　○○○○－○○○○　】

地域コミュニティに関する市民アンケート

ご協力のお願い

○この調査は、市民の皆さまの、地域との関わり、地域コミュニティへの意識・意向をお聞きすることを目的としています。

○いただいたご意見は、今後の地域づくりの参考とさせていただきます。

◎回答方法は、２種類から選べます。

①　インターネットでの回答



◀◀◀ アクセスはこちらから

・市ホームページからも、専用ページにアクセスできます。
「平塚市　地域コミュニティに関する市民アンケート」と検索してください。

回答ID：○○○　　地区番号：○○○

・回答IDと地区番号は、個人を特定するものではありません。

7月3日（金）までに回答してください。

②　郵送での回答

調査票に回答を直接、ご記入ください。

同封の提出用封筒に入れて、ポストに投函してください。※切手は不要です。

7月3日（金）必着

※このアンケートは、令和８年４月１５日現在で、住民基本台帳に登録されている満１６歳以上の方から、無作為に選んだ３，０００人を対象としています。

【問い合わせ先】
平塚市　市民部　協働推進課　地域自治推進担当
電話：０４６３－２１－９６１８（直通）　メール：kyodo@city.hiratsuka.kanagawa.jp

調査票　【　○○○○－○○○○　】

あなたご自身についておたずねします。

問1　あなたの性別をお答えください。

1．男性　　2．女性　　3．その他	回答欄

問2　あなたの年齢をお答えください。

1．16～19歳　　2．20～29歳　　3．30～39歳　　4．40～49歳 5．50～59歳　　6．60～69歳　　7．70歳以上	回答欄

あなたの世帯の自治会・町内会加入状況についておたずねします。

問3　あなたの世帯は、自治会・町内会に加入していますか。

1．加入している（問4へ）　2．加入していない（問6へ）　3．わからない（問7へ）	回答欄

問4　問3で「1．加入している」とお答えした方におたずねします。加入している理由は何ですか。

1．地域に役割を持ち、参加することが義務だと思うから
2．多くの地域住民が加入しているから
3．災害時などいざという時のために
4．以前から加入しているから
5．地域・行政の情報が得られやすいから
6．地域を良くしたいから
7．その他

回答欄（3つまで）			その他の場合、具体的に記入してください。

問5　問3で「1．加入している」とお答えした方におたずねします。自治会・町内会では、どのような活動が重要だと思いますか。

1．災害時を想定した避難訓練などの自主防災活動
2．地域の安全・安心に関わる防犯活動
3．高齢者を対象とした福祉活動
4．子どもを対象とした青少年健全育成活動
5．ごみステーションや公園などの環境美化活動
6．夏祭りや地区レクリエーションなどの地域ふれあい活動
7．その他

回答欄（3つまで）			その他の場合、具体的に記入してください。

問6　問3で「2．加入していない」とお答えした方におたずねします。加入していない理由は何ですか。

1．加入のメリットを感じにくいから
2．仕事、家庭との両立が難しいから
3．加入後の役割が負担だから
4．自治会・町内会に関心がないから
5．人づきあいが苦手だから
6．会費などを払うのが負担だから
7．その他

回答欄（3つまで）			その他の場合、具体的に記入してください。

地域参加についておたずねします。

問7　自治会・町内会以外で、どのような団体の地域活動に参加したことがありますか。

1．地域サークル　2．PTA　3．ゆめクラブ（老人クラブ）
4．環境美化団体　5．子ども会　6．青少年育成団体
7．NPO・ボランティア団体　8．その他　9．参加していない

回答欄（複数回答可）								
その他の場合、具体的に記入してください。								

問8　今後、どうすればより多くの方が地域活動に参加すると思いますか。

1．活動に関する情報をもっとPRする
2．参加した人が、なんらかのメリットを得られるようにする
3．活動の内容を魅力的なものにする
4．閉鎖的な雰囲気をなくす
5．参加しやすい曜日や時間を設定する
6．インターネット上での参加など、多様な参加方法を用意する
7．その他

回答欄（3つまで）			その他の場合、具体的に記入してください。

問9　どのようなつながり（関係性）を地域に求めていますか。

1．いざという時に助け合うためのつながり
2．地域の様々な人と様々なイベントなどで関われるようなつながり
3．趣味や気が合う仲間と気軽に集えて、おしゃべりができるつながり
4．ご近所同士での顔見知りの関係
5．気軽にあいさつや会話ができる関係
6．助け合いやつながりは求めない
7．その他

回答欄（3つまで）			その他の場合、具体的に記入してください。

問10　どの程度ならば、地域活動に関わることができますか。

1．活動に見合った報酬があればできる
2．時期・時間によってはできる
3．見守り活動のサポートなら協力できる
4．イベントなどの準備なら協力できる
5．当日のサポート・手伝いならできる
6．文章やイラストの作成なら協力できる
7．SNS などデジタルツールの活用なら協力できる
8．特に条件なく、サポートできる
9．役員を引き受けても良い
10．サポート（担い手）はできない

回答欄（複数回答可）									

公民館の利用方法についておたずねします。

問11　公民館をどのような目的で利用していますか。

1．公民館主催事業への参加　2．地域でのサークル活動　3．地域主催イベントへの参加
4．市民窓口センターの利用　5．図書の受け取り　6．チラシなどの情報収集
7．利用していない

回答欄（複数回答可）						

問１２　これからの公民館で、あるとうれしいと思うことは何ですか。

1．市役所の手続や地域のことを気軽に相談できる窓口
2．気軽に打ち合わせや情報交換ができる交流の場
3．気軽に読書や勉強ができる憩いの場
4．高齢者や子育て支援、健康づくり活動
5．地域サークル活動の作品展示、販売
6．市内商店や NPO などによる地場商品の販売
7．証明書発行などの窓口サービス
8．その他

回答欄（複数回答可）							
その他の場合、具体的に記入してください。							

これからの地域づくりについておたずねします。

問１３　地域活動、地域の助け合いについて、どのように思いますか。

1．地域活動はできるだけ活発にした方が良い
2．地域活動は活発な方がいいが、地域の担い手がいない状況では、一部イベントや活動などを見直した方が良い
3．防災やごみなど最小限の地域活動に絞った方が良い
4．地域づくりには、地域活動や助け合いは必要ない

回答欄

問１４　地域づくりにおいて、地域と行政はどのような関係が望ましいと思いますか。

1．住民や地域団体が中心となって地域づくりを進めるが、住民の力だけでは困難なときは行政が支援する
2．住民と行政が地域の課題解決に向けて、協力し合う
3．行政がリーダーシップを取りつつ、住民の協力を得ながら画一的な地域づくりを進めていく

回答欄

地域づくりについて、ご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。

お忙しいところ、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今後の平塚市の地域づくりにおいて、参考にさせていただきます。

地域コミュニティに関する市民アンケート結果報告書

令和８年（2026 年）10 月

編集・発行：平塚市市民部協働推進課

〒２５４－８６８６ 神奈川県平塚市浅間町９番１号

電 話：０４６３－２１－９６１８（ダイヤルイン）

ＦＡＸ：０４６３－２１－９７５６